

1	事業名称	チャレンジスキー in INARI			
2	新規・継続	新規	1年目		
3	趣旨	国立信州高遠青少年自然の家に宿泊して、冬の高遠の自然を満喫しながら、地域のスキー場である中央道伊那スキーリゾート（INARI）で、親子でスキーを楽しんでもらう。			
4	期日・期間	平成25年1月5日（土）～6日（日）			
5	実施場所	国立信州高遠青少年自然の家			
6	募集人数	100人			
7	共催・協力・後援	なし			
8	参加者人数	110			
9	参加者類型	累計	男	女	計
		小学生未満	9	6	15
		小学生	28	16	44
		中学生	3	2	5
		大人	20	26	46
10	参加者地域	東京都、愛知県、長野県、富山県、山梨県、埼玉県、三重県、神奈川県、滋賀県			
11	参加者分析	<p>家族での参加ということで募集したが、複数家族のグループでの参加も多かった。愛長野県南信地区と中京方面に広報を行ったため、愛知県と長野県内からの参加者が半分以上となった。他地域からの参加者はほとんどがホームページを見ての参加であった。</p> <p>スキーを始めたい、という希望での参加者が約半数であった。</p>			
12	アンケート満足度	満足	やや満足	やや不満	不満
		62%	31%	5%	2%
13	アンケートの主な記述	<ul style="list-style-type: none"> ・2日通してスキーが出来るのはいいと思う。 ・5歳の子も「疲れた」「寒かった」と一切言わず「楽しかった」といい顔で帰ってきたのでよかった。 ・雪道を運転をする自信が無くなかなかスキーに連れて行けなかったのですが不安なく参加できました。 ・スキーの時の手際が悪い。 ・昼食の時間を考えてほしい。 ・準備に時間を取られがちな印象でした。 			
14	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のスキー場と連携して事業を行うことで、地域との協力体制を築いていく足がかりができた。 ・冬期、利用者が少ない当所にとっては、他の施設とも連携して冬の活動が手軽に体験できるという良さをアピールすることができた。 ・以前の事業で開発した星座観察のノウハウを生かすことで、雪の活動以外にも当所の活動を体験してもらうことができた。 			
15	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・昼食の時間など、スキー場のレストランやスキースクールとの打ち合わせもしていく必要がある。 ・活動時のモチベーションを上げていくためにも、それぞれの活動のつながりの場面で待つことのないように綿密な計画と打ち合わせ、準備をしていく必要がある。 			
16	担当者メモ	<ul style="list-style-type: none"> ・他の施設の協力の下での事業ということで、打ち合わせを何度も行ったが、会場が商用施設ということもあり、本事業以外の利用者についての予測が甘かった。特に、食堂の混雑やレンタルスキーの準備不足など、INARIにお任せにしてしまった部分でスムーズに進行できなかったことがあった。 ・道具のレンタルやリフト券など、こちらで引換券を作成し、あらかじめ送付しておくなど、INARIでは券と交換するだけでよい体制を整えておくとう良かった。 2日目の利用についても同様の対応が必要と感じた。 ・スクールへの引渡し後や、昼食時など、待ち時間が多かったが、各班に学生ボランティアスタッフと職員を補助につけたことで、子どもたちも楽しく活動できたと感じる。 			

プログラム展開		
日程・時間	プログラム	担当（講師等）
1月5日（土）		
9:00	受付	国立信州高遠青少年自然の家職員
9:30	ガイダンス	国立信州高遠青少年自然の家職員
10:00～12:00	スキースクール	INARIスキースクール指導員
12:00～13:00	昼食	
13:00～15:00	スキースクール	INARIスキースクール指導員
17:00	受付・ガイダンス	国立信州高遠青少年自然の家職員
18:00～19:00	夕食	
19:00～	フリータイム ・ミニ星座観察会 ・絵本読み聞かせ	国立信州高遠青少年自然の家職員
19:30～21:30	入浴	
1月6日（日）		
7:00～7:20	朝の集い	国立信州高遠青少年自然の家職員
7:20～8:00	朝食	
8:00～9:00	清掃・荷物整理	国立信州高遠青少年自然の家職員
10:30	INARI着・解散	



開校式の様子



スキースクール開始



レッスンの様子



レッスンの様子



レッスンの様子



自然の家の夜の活動
屋外の望遠鏡で星座観察